

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18038	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	栄養学総論 (基礎栄養学) (General theory of Nutrition)				
担当教員名	神田 裕子				
授業の概要及び到達目標					
<p>栄養とは生物が活動、成長、増殖のために外界から必要な物質を取り込み、生命を維持していく現象である。したがって、栄養学総論では栄養素の摂取、消化、吸収、代謝、排泄および防御機構等、幅広い分野について学習し、理解ができることを到達目標とする。講義では、栄養学の定義である「人体と食物の相互作用を明らかにする学問」について解説し、現在の日本の疾病の状況、食生活の実態を報告する。次に、栄養の歴史、栄養状態の判定、空腹と食欲について学ぶ。これらの知識をもとに栄養素である糖質、脂質、タンパク質、無機質、ビタミンについてその栄養学的機能、消化・吸収・代謝、食事摂取基準、欠乏症等について講義する。</p>					
準備学習等					
<p>1年生前期「生物Ⅱ」、「生物Ⅰ」、「化学Ⅱ」、「化学Ⅰ」、「体のはたらきと仕組みⅠ・Ⅱ」の基本的事項について十分復習し、理解をしておくこと。 毎回予習と復習をしっかりと組みながら、授業に参加してください。特に、<u>復習に重点</u>をおき学習しましょう。2年前期「基礎栄養学特講」に続く科目です。 管理栄養士国家試験ガイドラインに沿って進みます。管理栄養士国家試験受験科目のうちの一つの教科です。</p>					
成績評価の方法	期末試験 80%、出席状況および授業態度、授業への取り組み・参加度20%				
テキスト	テキスト：未定 サブテキスト：「基礎栄養学ノート」改訂第3版 田地陽一他編著（羊土社）				
参考図書	「楽しくわかる栄養学」中村丁次著 羊土社、「全ての診療科で役立つ 栄養学と食事・栄養療法」曾根博仁著 羊土社、「臨床につながる解剖学イラスト例テッド」松村譲児著 羊土社、「新基礎栄養学第8版」吉田勉編著 医歯薬出版株式会社、「基礎栄養学改訂5版」国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所監修 南江堂、「基礎栄養学改訂第3版」田値陽一編 羊土社、「時間栄養学」香川靖雄著 女子栄養大学出版部、「人体栄養素の基礎（管理栄養士講座）」山本茂編著 建帛社、「栄養学原論」渡辺昌著 南江堂				

	その他は、授業中に紹介・指示します。
備 考	最新情報は、授業の中で随時紹介する。 授業の進捗度、理解度による変更になる場合がある。 オフィスアワーは、適時、授業中および授業後に教室等で受け付ける。
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none">1. 栄養の意義と栄養学の目的2. 栄養学史、栄養学の歴史とその成立、わが国の栄養と健康状態の推移、栄養評価 食事摂取基準等について3. 摂食行動、食欲、サーカディアンリズムなど4. 消化・吸収と栄養①消化器系の構造と機能、消化酵素の種類など5. 消化・吸収と栄養②栄養素の体内動態など6. 糖質の栄養①7. 糖質の栄養②8. 脂質の栄養①9. 脂質の栄養②10. たんぱく質の栄養①11. たんぱく質の栄養②12. ビタミンの機能と栄養①脂溶性ビタミン栄養13. ビタミンの機能と栄養②水溶性ビタミンの栄養14. ミネラルの機能と栄養15. 水、電解質の栄養的意義 まとめ	